

情報交差点・心と心の交わり

# あじまへ

**祝九州準優勝**

**大宜味中男子ソフトテニス部  
九州中体連 団体準優勝・個人3位！  
中体連全国大会出場！【福地想楽・花田悠馬ペア】**

大宜味村教育委員会  
電話 44-3006  
FAX 44-3020



「チーム大宜味」心をひとつに！

8月7日（火）～9（木）にかけて行われた 第49回九州中学校ソフトテニス競技大会（県総合運動公園）において、大宜味中男子ソフトテニス部が地元の大応援を背に「大中旋風」を巻き起こし、団体準優勝・個人3位（福地・花田ペア）の成績を収め、全国大会の切符を獲得！

また、8月21日（火）～24（木）に行われた 第49回全国中学校ソフトテニス大会（広島県尾道市）においては、団体戦は上宮学園（大阪）・個人戦（福地・花田ペア）は2回戦で敗れはしたものの、団体全国準優勝チーム・個人全国優勝ペアを相手に互角以上の戦いを繰り広げました。

選手たちも、九州・全国の舞台でプレーすることを通して「やればできる」ということを実感できたと同時に、言葉では表現できないくらいの貴重な経験を積むことができました。これもひとえに保護者や学校関係者、コーチ（池宮一斗さん・平良 修さん）をはじめとした地域の皆さんの支えがあったことだと感じています。

今回の全国大会出場において、保護者会を中心とした資金造成をはじめ、大宜味村夏まつりや村内外の企業や団体・個人の皆さまから多大なご支援をいただきました。この場をお借りして深く感謝申し上げます。今後とも、大宜味の子供達のご支援をお願いいたします。 【大宜味中学校 男子ソフトテニス部 顧問 名城 潤】



働いた後は遊んで涼もう♪ 平成30年度わんぱく体験団 第3弾「芋を植えよう!水で遊ぼう!」

8月3日（金）、旧大宜味小学校においてわんぱく体験団第3弾「芋を植えよう!水で遊ぼう!」が行われました。

今回は今年度最後に行われるわんぱくの活動時に使う「サツマイモの苗植え」と、暑い夏を楽しく乗り越えるための水遊び。

団長指導の下、早々に苗を植えきったわんぱくたちは早々に水鉄砲づくりに取り掛かりました。ちなみに最後の活動ではみんなが作った芋でウムニー作りをにします。お楽しみに〜♪



おいしい芋に育ってね



怪しいおじさん…

って、講師の団長です

手慣れた子、発見!



超簡単! ペットボトル水鉄砲



手助けし合って、教え合って植えていきます



自分たちで遊びのルールを決めて水遊び開始!

各班で決めた王様の子を濡らさず守れる班は誰だ!? って、全員びしょびしょ。本当に王様守ってた?

とにもかくにも楽しく涼めたようでなによりです。たまにはいいねこんな活動



蓋に穴を開けたらできあがり〜

水も滴るいい男たち



近すぎない?



勝負だっ!



後ろ、後ろ…



逃げ切れ、ぼく!



関係なしっ!

二刀流!



第23回ルーセント杯県小学生大会 大宜味ジュニア福地美楽性・宮城はちペア優勝!

8月12日（日）、沖縄県総合運動公園において、第23回ルーセント杯県小学生大会が開催され、大宜味ジュニア（ソフトテニス）の福地美楽性さん（6年生）、宮城はちさん（6年生）が女子総合の部で見事優勝に輝きました。

互いに日々の練習に励み、大会では声をかけ合いながら1戦1戦大事に挑み、全戦全勝で優勝という最高の結果に繋げることができたのでしよう。

また、11日（土）に行われた第12回西日本小学生選手権大会沖縄県予選シングルスでは、大宜味ジュニアの金城和志くん（喜如嘉出身、現在安田小6年生）が優勝、宮城松（大宜味小4年）が準優勝と輝かしい成績を取っています。これからの大宜味ジュニアの活躍にますます期待が寄せられます。



第3回島田杯 沖縄県学童軟式野球大会 大宜味結 Guts 準優勝!



8月18日（土）、19日（日）に東風平運動公園において行われた第3回島田杯・かりゆしグループ旗争奪沖縄県学童軟式野球大会に大宜味結 Guts が出場し、準優勝の成績を収めました。

小学4年生以下で編成されたチームで挑むこの大会。準優勝とあと1歩のところでしたが、決勝戦では南部Aの大里シャークスを3回まで0点で抑え、失点後も点を取り返すなど選手一人一人の成長と、諦めず次に繋げる粘り強さを見せてくれました。

これまで経験してきた試合、そしてこれから挑む数々の試合の経験を力に変え、ますますの活躍を見せてくれることを期待します。魅せつけろ! 大宜味 Guts!

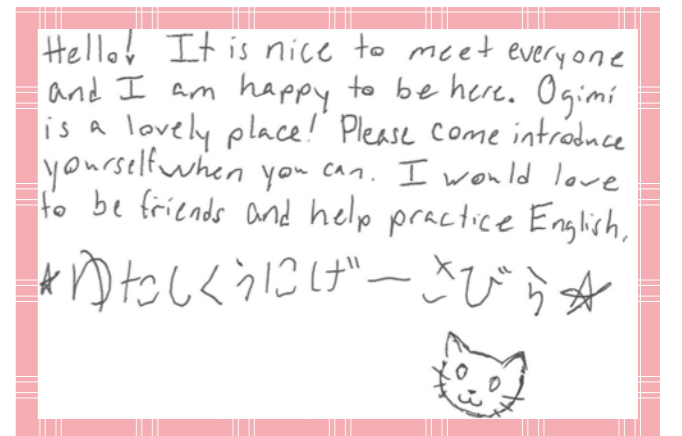
ようこそ、大宜味村へ♪ アナ先生着任

工夫をこなした授業で英語の楽しさを教えてくれたジェイミー先生に代わり、2学期からアナ先生が大宜味村の幼稚園、小学校、中学校でALT (Assistant Language Teacher) として「外国語活動」の授業を見られることとなります。

初々しくキュートなアナ先生。みんなとも近い存在になると思います。まだ日本に来たばかりなので、できるだけ英語で話しかけてみましょう!! みなさん、よろしくお願いします。



名前: Anastacia Hale Schabillon  
アナスタチャー・ヘイル・シャビリオン  
出身地: イリノイ州  
好きな食べ物: おでん



本人直筆のメッセージです。これも勉強、訳してみましょう!!



夏と言ったら、キャンプっしょ♪

平成30年度わんぱく体験団 第4弾「キャンプ」

夏だ！祭りだ！キャンプだ！いよいよ来ましたわんぱくキャンプ。選ばれし団員（高学年）しか体験できない、特別な活動。ガスも電気も飲み水もない山の中で行うキャンプ。資源の少ない中、いかに工夫して過ごせるか真のわんぱく力を試す時…。さてさて、みんな泣き出さず、逃げ出さず耐えられるかな？って、大雨やないか〜い！！雨でもキャンプはできるけど、ここまで降ると山でのキャンプは危険を伴い、かくしてキャンプは旧大宜味小学校で、しかも体育館!?での開催となりました。

外は大雨、強風…

15日 9:00 ~



あっと言う間にテントは立てられ…

15日 12:00 ~

楽しいランチタイム in 喜如嘉公民館



17字をめぐる村めぐりへ…

雨のためバスからの見学。なので写真は…



当初予定していた山登りは村内めぐりとなり、時間のかかるマキ拾いもなく、電気やガス、水が当たり前に見える中でのキャンプ。こんなの初めて…

15日 13:10 ~ウフギー自然館



やんばるの自然を勉強



はい♪

ニンジンが細かくね

水筒を眺めているわけではありません



15日 15:00 ~東村山と水の生活博物館



ハブに睨みきかせてます



昔の玩具づくり



15日 17:10 ~夕飯作り



15日 20:30 ~紙ヒコーキ大会



うちのカレーが1番美味しい♪



真剣です

自慢の1機の結果は!?



16日 8:00 ~朝食・昼食作り



うんめえ〜おにぎり作るからな〜



眠いっ！清々しくない朝…



16日 10:00 ~片づけ・掃除



様々な作業が順調に進み夕食、お楽しみ紙ヒコーキ大会へ。翌日は夜更かしのせいか、子ども大人もみんな寝坊。全員先生に起こしてもらいました。寝ぼけながらのご飯づくり…山の方が早く支度できたのかな??

16日 11:00 ~海水浴



いつの間にか水切り合戦に…



ただただ、砂にまみれる



今回は天気にも左右されながらのキャンプ。「田嘉里川に行きたい!」というみんなの願いは叶わず(あの雨の後行ったら、みんな流されちゃうから)大宜味の海での海水浴に。ハブクラゲに恐れつつ、冷たい海で泳ぎました。

後でわかったことですが、キャンプ開催時は台風でした(あの雨と風は途中から台風になっていたみたい)。山でやらなくて良かった(^\_^;) 来年こそは山で電気もガスも飲み水もないキャンプをみんなに体験してほしいです。今回ののがキャンプじゃないからね。来年を楽しみにしていてくれ、わんぱくたち…。



深読み大宜味村史 19 津波

大宜味村史は昭和42(1967)年に村史編集委員会が発足し、委員長宮里金次郎、委員に山川元康、大山茂一、宮城福市、親川富二、宮城倉栄、宮城倉啓、大嶺福一、大城真秀、編集担当として山川岩美(編集責任者)、金城功、宮城長信、大城将保、平良幸七(写真)の諸先輩方によって編まれ、12年の歳月をかけて昭和53(1978)年に資料編、同54(1979)年に通史が発刊されている。通史・資料編を合わせて1,100余ページにも上る村史編さんの基になった資料をめぐって見ると、興味深いものが沢山あり、その中の『村史編集史料 各字の資料(山川元康メモ)』から順次紹介している。なお、当時の言い回しや仮名づかいの味わいを残しつつ、判読不能の文字は□に置き換え、分かりづらい表現は( )内に補足を加える等、内容に大異が生じない程度に編集した。なお、年代、年令などは1967年当時の表記であることにご留意願いたい。

調査年月日 昭和42(1967)年8月29日

出席者 前田 76才(明26年生)、宮城牛太郎 88才(明14年生)

村の立ち初め 源河より分れ 平南津波村

蛇の舞 平南城の板干瀬大主との関係か、悪者の仕業が蛇に例えられたか(起源については諸説)

津波城 城跡ではなかったと思う

石城 ガタ原…□がみより現在の石城へ神が移したといはれる

平南川のあまんが足 大きな人の足、両尻の跡、こう丸の跡と思はれる処がある

平南川の上流、大川の1号線より3,000mの場所にある

ガツナ川 大和人にまつわる言い伝えがあり、御神と呼ばれる場所には骨や刀があったと伝えられる

平南と津波との境、津波城のアラパーでハーレーをしていたが、あるとき死人も出たのでその後は地パーレー(陸上のハーレー)をして居たという。ハーレー泊い屋と伝えられる所が残って居る

森川の子(主) 津波…屋敷の跡がある 塩田もすぐ下にあった

旧家 地頭屋(島袋姓)、山川殿内(屋号山根)津波新助、根神殿内、口屋殿内、上り殿内(屋号上門)

天然とう シリヤーオジー(前田福助の3代上) 入り小オヂー(仲村勝政祖父)

那覇旅より伝染して隔離された

コレラ 被害なし

土地割 海染、渡海、ガツナ(島原)、平南、ガタで行われた

寄留人 土地配当なし(※貢租のために国から割り当てられた土地を耕作する百姓には、自分達が耕していた土地が与えられたが、貢租を免れ、即ち割り当ての土地がなかった寄留士族には土地配当はなかった。地割の際に、断髪して百姓の身分になることと引き換えに土地割当を提示されたが、ほとんどの寄留士族はそれを拒否し士族の誇りを守ったという)

ノロ地 ガツナ(※当時ノロは公務員でありその役特報酬として条件の良い土地を与えられていた)

共有地 津波の共有地であった宮城の塩田を宮城部落に貸して居た(※当時宮城は津波の一部で、住民は皆寄留士族であったため、土地は百姓である津波の人々の所有であった)

砂糖(製糖) ガツナの山川和信氏のあき屋敷内に鉄車(鉄製の搾汁装置)があった

木車(木製の搾汁装置)は(話者が)17、8才頃までであったと思う

水車(水力を利用した搾汁装置)が渡海とアザカにあり、アザカのものが大きかった

水車は明治40年から使っていたと思う

断髪令(士族の象徴である鬘(かたかしら)を切るようにとの国からの命令) 明治29年に半年ぐらい騒動が続いた。断髪することを村(字)で決めて、集まり次第断髪した(断髪令の対象とされた士族はほとんどが宮城の人々であった)

坊主 津波古嘉進(※断髪により坊主頭にしたということか?)

山稼(やまかせぎ) 山から伐り出した薪炭や木材等を那覇などの都市部で売った

村船 最初は村船(村有船)で交易を行い、後から個人経営の山原船7、8艘で行なっていた

漁業 ガツン漁(獲れたガツンは本部へ餌として売却)



# 村史編さんだより

第89号 2018年9月1日 大宜味村村史編纂係 44-8009 Eメール:sonshi@vill.ogimi.okinawa.jp

▼悪天候の中5名参加して頂きました。ありがとうございました。(謝名城)



▲色々な写真が順番にスクリーンに写し出され、話がはずみます。(写真:茅葺きヤーの骨組み)

▼3名の参加でしたが、たくさんの話が聞けました。(田嘉里)



## 第2回 『人と自然編』聞き取り調査報告!

8月16日(木)謝名城と田嘉里で、大宜味村史『人と自然編』2回目の聞き取り調査を行いました。今回の調査では、2時間で170種類の植物について、生業や暮らしの中で培われた沢山の知識やエピソードを収録することができました。その一例を紹介します。

フクギ…建築材/センダン…床板、家具/モッコク(イク)…垂木/イヌマキ(チャーギ)…垂木/シママサオノキ(ダシカ)…梁に利用…など、昔取った杵柄は健在で、山稼ぎに明け暮れたという男性の声が多く聞かれました。他には、ホウライチク…イノシシガキとして植えた/イヌノキ(ユシギ)…防風林。白や杵を作った/イルカ(ウーヅルハンダ)…奥間の人が綱引きの時期になるとりに来た。ウズラハンダクブという地名もあった(田嘉里)/リュウキュウマツ…松ヤニ(アハシ)の利用。松で作った燻(ティー)で屋嘉比から水をひいていた(田嘉里)/フカノキ(アサグル)…アサグルナバという美味なキノコが採れた/オヒシバ(チカラグサ)…子供のマンサン祝いの時に根から切ったのを供えた(力持ちになるように)/タマシダの方言名…フーガニヤマンクワ(田嘉里)・ボージャーヤミンクワ(謝名城)/クスノキ…戦前は集落から2km先のところに樟脳工場があった(謝名城)/ニッケイ(カラギ)…味が強い根の部分がおもしろかった/アディク…鉄の柄/ゲツキツ(ギンギチ)…ヘラの柄/アキノワスレグサ(クワンソウ)…花を天ぷらや汁に入れて食べる。薬草。安眠効果があった/ヒバ(ヒマ、チャンダカシー)…戦闘機、船の油に利用/コシダ(ワラビ)…2~3日川に浸けて柔らかくし、カゴを編む。ワラビ細工/仏桑花(グソーバナ)…仏壇に供える。シャンブーとして利用。

台風の影響で悪天候にも関わらず調査にご協力していただき、ありがとうございました。最終回の3回目は「動物」について聞いていく予定です!どんな話が飛び出すか次回も楽しみです。



### ~新たに加わった本の紹介~

- ・喜如嘉の芭蕉布(1993年/喜如嘉の芭蕉布保存会)
- ・シマントー 昭和50~平成8 大宜味小学校PTA便り
- ・琉球の漆芸文化 写真集(2017年/一般財団法人美ら島財団)
- ・名護・やんばるの沖縄戦 資料編2(2018年/名護市役所)
- ・名護市史本編1 人と自然I やんばるの自然誌(2017年/名護市役所)
- ・目で読む 島袋のろ殿内資料(2018年/北中城村教育委員会)
- ・奥むらの戦世の記録 やんばるの沖縄戦(2018年/宮城能彦)
- ・沖縄の民俗資料(上)・(下)(2018年/沖縄県教育委員会)
- ・『ヤマト』は縄文時代勢力が造った(2017年/内舘彬)
- ・植物標本より得られた近代沖縄の新聞II(2018年/沖縄県教育委員会)
- ・580億匹の闘い ウリミバ工根絶の歴史(1994年/小山重郎)



※村史編さん係(旧大宜味小図書館)で閲覧出来ます!





# 「しまふとうば」ぬくとう 31



## 地域行事

子どもにとって楽しかった夏休みが終わり、8月27日から二学期が始まった。昨年までは二学期が始まってしばらくの間は校門前でぐずって登校を渋る小学校低学年の子どもが数名見受けられたが、今年はまだ見かけていない。

夏休み期間中のスポーツ面での児童・生徒の活躍は素晴らしいものがあった。二学期は運動会や陸上競技等スポーツ行事が続くが、同時に地域においては豊年祭等の祭の季節にもなる。

祭など地域行事においても子どもの存在は大きなものがある。祭ごととは子どもからお年寄りまで多くの人の関わりがあってこそその意義が達成される。地域行事の継承はその地域文化の継承であり、その地域の人々の結びつきの継承でもある。地域行事を行う本質・目的はその行事を行うことだけではなく、行事を通じて人々が集まることによって、地域における個々人の存在を確認する場になることでもある。特に1～2年に一度の豊年祭など大きな行事は、多くの人が集まり、協力し合って大きなエネルギーを生み出さなければならぬものではない。その中には子どもの参加があるのはごく当然のことであり、積極的に参加を促してもらいたいと思う。子どもが地域の行事に地域の一員として参加し、多くの人との触れ合いを通して大きく成長する、と思うのは衆目の一致するところであろう。

大きな行事を行うには相当の難儀と大きなエネルギーの消耗があるが、終えた後の安堵感は個人レベルだけでなく地域全体の安堵感につながり、地域の人々のつながりを感じる安堵感にもなる。そのような地域行事があることに感謝したい。そして将来へ継承する責務も感じる。

地域行事には眼には見えない人々を結びつける大きな力がある。その力は日常の中で人々が安寧に暮らすことができる源にもなる、と時の移ろいを感じながら……でいちむめかんげーすーぬ時期（季節）なとうんやーをおー。



### 今月の生きもの



### タテオビクシヒゲボタル（幼虫）：ホタル科

こんばんは、まだまだ暑さの残る夏、みなさんいかがお過ごしですか？私タテオビクシヒゲボタルの幼虫です。ただいま大好きなミミズを捕食中。小さいし、幼虫だけど、喰らいついたら離さない。自分より大きなミミズにも積極的に挑みます。とても鋭い顎なので噛まれたら、痛いからみんなも気を付けて！

### 🍷 9月の行事予定 🍷

- 1日（土）国頭郡ゴルフ大会
- 3日（月）区長会
- 4日（火）塩屋湾のウンガミ（海神祭）
- 9日（日）村長・村議選挙
- 10日（月）大小・大中振替休日
- 16日（日）大宜味小・大宜味中運動会  
家庭の日
- 17日（月）敬老の日
- 18日（火）大中振替休日
- 20日（木）短期留学報告会



### 9月18日 かわいれ大根の日

- 21日（金）大小振替休日
- 22日（土）シークワサーの日  
国頭地区中学校陸上競技大会
- 23日（日）秋分の日  
村体協陸上競技大会
- 24日（月）振替休日
- 25日（火）大中振替休日
- 26日（水）交通安全推進村民大会
- 27日（木）定例教育委員会会議
- 29日（土）ぶながやっ子運動会（喜保）
- 30日（日）大宜味幼稚園運動会

今年は台風が多いですね。まつりが1日になったり、キャンプが体育館での開催になったり大きな被害はないものの、夏を満喫できていない気がします。台風も夏の風物詩ですが、土日に、夏休みに来なくなっちゃっていいじゃない…と思うのは私だけ？